

困ったときはお互いさま。地域で助け合い支え合う。「農」を活用した高齢者の機能回復と社会参加

〔運営主体：特定非営利活動法人 ぬくもり福祉たんぽぽ〕

〔事業所：デイサービス田園倶楽部、デイサービスぬくもりの館、たんぽぽ自然農園、たんぽぽフラワーガーデン〕（埼玉県飯能市）

WEBサイト：<http://care-net.biz/11/tanpopo/>

視察受入れ：可 報道機関受入れ：可

- 埼玉県飯能市にある「特定非営利活動法人 ぬくもり福祉たんぽぽ」は、平成11年に埼玉県内第1号のNPO法人として認可を受け、居宅介護・通所介護、障害福祉サービス及びソーシャルファーム※に取り組んでいる。
- 通所介護の機能訓練の一環として、利用者が農作業に携わる「畑のプログラム」は、利用者（高齢要介護者）が農作業に関わることで、運動機能や認知機能の改善に寄与するとともに、利用者間の交流も活発に行われ、コミュニケーションや憩いの場づくりに貢献している。

取組の内容

- ◆ 法人が運営する通所介護施設では、利用者（高齢要介護者）の機能訓練の一環として、近隣農家から農地を借り「畑のプログラム」（週3回、約90分/回）を提供し、5～8名程度の利用者が農作業を実施。
- ◆ 「畑のプログラム」は、農作業を通じた機能訓練にとどまらず、社会参加の取組として、利用者自らが近くの障害福祉サービス事業所へ訪問し、栽培した野菜を販売。
- ◆ 野菜を育てるだけでなく、栽培した野菜の売上げや種苗等の購入経費も利用者が記録。
- ◆ また、同法人が運営するソーシャルファーム「たんぽぽ自然農園」等では、農業経験のある高齢者が指導者として参画し、障害者を4名雇用し、野菜や花き栽培・販売を実施。

取組の効果

- ◆ 要介護の利用者が「畑のプログラム」等に参加し、農作業に関わることで足腰の強化など運動機能の改善や、土に触れ昔を思い出すことによる認知機能の改善に貢献。
- ◆ 身体機能等の改善により介護支援を必要としなくなった高齢者はボランティアとして法人の活動に参加するなど「生きがい」を醸成。
- ◆ 「畑のプログラム」では、利用者同士による意見交換・交流も活発に行われ、コミュニケーションや憩いの場づくりに貢献。

農作業（苗定植）



農作業（耕耘作業）



農作物の訪問販売



要介護からボランティアとして法人活動へ参画（ボランティアを表彰）



ソーシャルファーム



※ソーシャルファーム
障害者あるいは労働市場で不利な立場にある人々のために、仕事を生み出し、また支援付き雇用の機会を提供することに焦点をおいた社会的企業。